



できることから始めよう

次はあなたも エコライフ

環境課
内線253

冬の省エネ

日照時間が短い冬は、照明をつける時間が長くなります。さらに暖房の使用も増えるため、冬はエネルギー使用がぐっと増え、出費がかさむ季節でもあります。実は、冬こそ省エネに努める必要があるのです。

■照明の省エネ

あなたのお家で白熱電球を使っている箇所がありますか？白熱電球は、思っている以上にエネルギーを必要とします。今お使いの白熱電球の取り替え時期がきたら、思い切って省エネ型の物に取り替えてみませんか。電球型蛍光灯やLED電球は白熱電球に比べて高価ですが、寿命が長く、消費電力が少ないのが特徴です。初期投資は多額でも、長い目で見たらお得です。頻繁に使う箇所ほど、この効果は高くなります。照明をつける

時間が長いこの季節に、照明を見直してみよう。

■暖房の省エネ

冬の光熱費のうち、多くを占めるのがエアコンやガス、石油ファンヒーターなどの暖房機器です。部屋が暖まったらそのままつけ放しにしないで、消したり温度を下げたりするなどして、必要に応じて使用しましょう。

また、暖房の設定温度は20℃を目安とし、寒いと感じたら、服を1枚余分に着るなどの工夫をしましょう。ニットのカーデイガンや1枚羽織ると、なんと2・2℃も体感温度が上がるといわれています。ほかに、室温を保つためにドアの開閉を少なくすることや、加湿器で湿度を上げて暖かく感じるようにするなどの工夫もあります。

冬の省エネも工夫次第。我慢せず賢く温かくなりたいですね。

あのときときは

今は昔、土岐市で幸せを願って奉納されたこま犬が文化財に指定された年、アメリカのブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ最高会議議長がマルタ島で会談し、東西冷戦の終結と新時代の到来を宣言しました。今月は25年前の平成元年（1989年）の土岐市を振り返ります。

平成元年(1989)年
「広報とき」より

こま
鉄釉狛犬（一対）



鉄釉狛犬（一体）



灰釉緑釉流し狛犬（一対）



当時の庶民の生活と焼き物との
つながりを知る 〈8月15日号掲載〉

平成元年に、下石町の八剣神社に奉納されている陶製のこま犬2対と1体の3件が市の文化財に指定されました。こま犬は、置かれた場所と材質によって性質に違いがあります。石造のこま犬が神社社殿前で神社を守る聖獣として置かれているのに対し、陶製のこま犬は願いを込めて神前に奉納されたものだそうです。

この他に、白山神社（泉町）の陶製のこま犬2対も市指定文化財となっています。

奉納した人物の名や年号などが記されており、当時の陶磁器の技術の移り変わりや庶民の焼き物文化との関わりを知ることができます。